

# 「行政（警察・防衛・公安関係）による 生活と安全の確保」

担当教員 永野秀雄 長谷川直哉

## コース概要

日程 2019年8月5日～8日

場所 公安調査庁、神奈川県警察本部、神奈川県警察・横浜水上警察署、神奈川県警察・航空隊（横浜ヘリポート）、神奈川県警察・警察学校、海上自衛隊横須賀基地、防衛大学校

参加人数 15名

## コースのねらい

国民の生活と安全を守る組織としての警察・防衛・公安関係の組織と現場を見学して、その現状を学ぶことにあります。将来、警察官、自衛官、公安調査官を志望する学生や、この分野に関心のある学生に参加してもらいたいと考えました。

## 内容

第1日目の午前中は、公安調査庁において、同庁の業務・組織の説明と、横尾総務部長からのお話を頂きました。午後は、4人1チームで、情報収集に関する調査業務を体験させて頂きました。架空の国家の関係者が東京オリンピックでテロを起こす可能性があるのかを、複数の関係者にインタビューするというもので、調査官が担当する業務の難しさを実感することができました。

第2日目の午前中は、神奈川県警察本部において、指紋採取の鑑識体験をさせて頂いた後、通信指令室と交通管制センターを見学しました。午後は、横浜水上警察署にて、業務を説明して頂いた後、2班に



公安調査庁・調査業務体験



神奈川県警察・横浜水上警察署

分かれて船舶に乗船し、横浜港を見て回る機会に恵まれました。また、警察装備品の装着を体験しました。

第3日目の午前中は、横浜ヘリポートの神奈川県警察・航空隊において、同隊の業務につき説明を受けた後、実際にヘリコプターを使ったホイスト救助訓練を見せて頂きました。



神奈川県警察・航空隊（横浜ヘリポート）



海上自衛隊横須賀基地・護衛艦「いかづち」

第3日目の午後は、神奈川県警察・警察学校において、神奈川県警察の採用制度と同校に関する説明を受けた後、学生寮、食堂、柔剣道場における武道訓練、交番における職務質問訓練、忠烈塔を見学させて頂きました。

第4日目の午前中は、海上自衛隊横須賀基地において、海上自衛隊の組織・役割について説明を受けた後、護衛艦「いかづち」に乗船し、船上・船内の各所において、搭載火器等の説明をして頂きました。また、昼食は、基地の食堂で「海軍カレー」を頂きました。

第4日目の午後は、防衛大学校において、まず防衛大学校資料館において、同校の紹介ビデオを見た後、歴史展示物等を見学しました。この後、巨大な総合情報図書館を見学しました。最後に、人文社会科学群国際関係学科で国際法などを担当されている黒崎将広准教授から、同校の教育内容や、なぜ国際法が同校の必修科目となっているか等につき説明して頂きました。

## 学習を終えて

公安調査官疑似体験ツアーで、私たちはこの調査業務を体験することができた。情報を持っていると思われる人から、どのように情報を引き出すか、どうしたら信頼が得られるのかを考えながら面談を進めていくのは大変難しく、体力を使うものであった。調査業務体験を終えた後、改めて実際に現場で人に会っている調査官の人の勇気や使命感に対して、尊敬せざるを得なかった。(1年 森市優)

私は将来、警察官になりたいと思って、このフィールド・スタディに応募して、ほかではできない体験をできたと思いました。この体験を通して、改めて警察官になりたいと思いました。(3年 伊奈晃宏)

護衛艦の体験は4日間の中で最も興奮した時であると同時に、最も緊張した雰囲気を感じた場所でもあった。台風の時には護衛艦は遠くへ退避させるという話で、台風の経路などを考慮しながらあれだけの大きさの船をいくつも移動させるというのは非常に大変なことだと思った。(2年 高砂麻里)